

5) 陸上昆虫類

五木村及び相良村では、「人吉球磨五木五家荘地区自然公園候補地学術調査報告書(熊本県、昭和44年3月)」、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 熊本県(環境庁、昭和56年)」、「五木村学術調査 自然編(五木村総合学術調査団、昭和62年1月)」及び「日本の絶滅のおそれのある野生動物—レッドデータブック—(無脊椎動物編)(環境庁編、平成3年8月)」によると、チョウ目、コウチュウ目など2,328種が記録されている。建設省の現地調査(「4.4 植物・動物・生態系」参照)では、川辺川ダムとその周辺で1,648種が確認されている。

また、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 熊本県(環境庁、昭和56年)」によると、図2.1.5.2-3に示すとおり、ムカシトンボ、ムカシヤンマ、オオムラサキなどが分布している。

なお、以下に示す①～⑤により五木村及び相良村における重要な種を選定したところ、表2.1.5.2-6に示すとおり、文献においては19種、建設省の現地調査においては14種が該当した。

①「文化財保護法(昭和25年法律第214号)」、「熊本県文化財保護条例(昭和51年熊本県条例第48号)」により天然記念物に指定されている種

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年法律第75号)」で指定されている種

③「熊本県希少野生動植物の保護に関する条例(平成2年熊本県条例第61号)」で指定されている種

④「環境庁報道発表資料 無脊椎動物(昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等)のレッドリストの見直しについて(環境庁編、平成12年4月)」に記載されている種

⑤「熊本県の保護上重要な野生動植物 レッドデータブックくまもと(熊本県、平成10年3月)」に記載されている種

⑥その他専門家により指摘された重要種



出典：「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 熊本県」（環境庁、昭和56年）

図 2.1.5.2-3 第2回自然環境保全基礎調査における昆虫類の分布

表 2.1.5.2-6 重要な陸上昆虫類

No.	種名	文献	建設省 調査 ²⁾	選定根拠 ¹⁾					
				①	②	③	④	⑤	⑥
1	ムカシヤンマ	○	○					R	
2	エサキクチキゴキブリ		○				DD		
3	ズイムシハナカメムシ	○					EN+CR		
4	ツヅラセメクラチビゴミムシ	○	○				EN+CR		
5	ヒメヒラタゴミムシ	○	○						○
6	ヒゴツヤムネハネカクシ	○	○						○
7	キンスジコガネ	○	○						○
8	ハバムナビロコメツキ	○	○						○
9	エサキニセヒメガガンボ	○					DD		
10	ギンイチモンジセセリ	○					VU		
11	ツماغロキチョウ	○	○				EN+CR		
12	エゾスジグロシロチョウ	○	○						○
13	アイノミドリシジミ	○						R	
14	メスアカミドリシジミ	○						R	
15	クロシジミ	○					EN+CR		
16	ミヤマカラスシジミ	○						R	
17	ウラキンシジミ		○					R	
18	オオウラギンヒョウモン	○				○	EN+CR	V	
19	ミスジチョウ	○	○					R	
20	オオムラサキ	○	○				NT		
21	ウラナミジャノメ	○	○				VU		
22	サカグチキドクガ		○						○
計	22	19	14	0	0	1	10	7	6

1) 重要な種の選定根拠は以下のとおりである。なお、④⑤の定義の詳細については、巻末の資料編に示した。

①「文化財保護法」、「熊本県文化財保護条例」により天然記念物に指定されている種

特:国指定特別天然記念物 国:国指定天然記念物 県:県指定天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で指定されている種

I:国内希少野生動植物

③「熊本県希少野生動植物の保護に関する条例」で指定されている種

④「環境庁報道発表資料 無脊椎動物(昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等)のレッドリストの見直しについて」に記載されている種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 EN+CR:絶滅危惧I類 VU:絶滅危惧II類 NT:準絶滅危惧

DD:情報不足 LP:地域個体群

⑤「熊本県の保護上重要な野生動植物 レッドデータブックくまもと」に記載されている種

Ex:絶滅 E:絶滅危惧 V:危急 R:希少 DD:情報不足

⑥その他専門家により指摘された重要な種

2) 建設省の現地調査:「4.4 植物・動物・生態系」参照